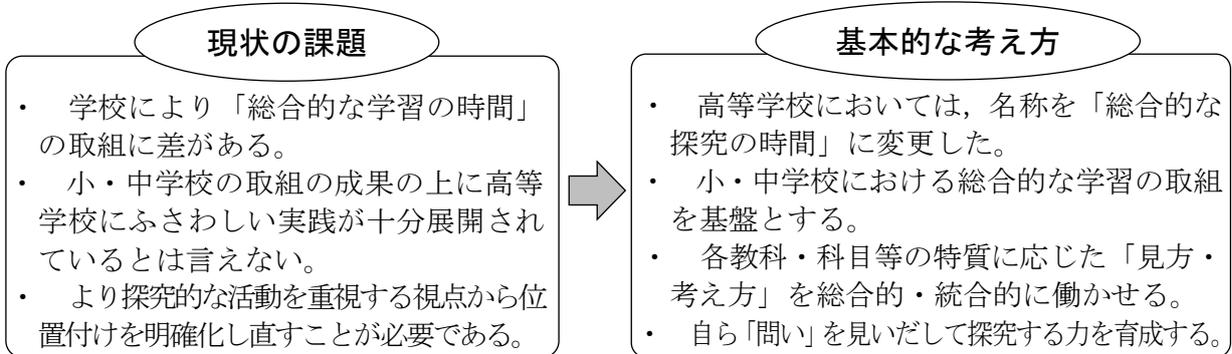


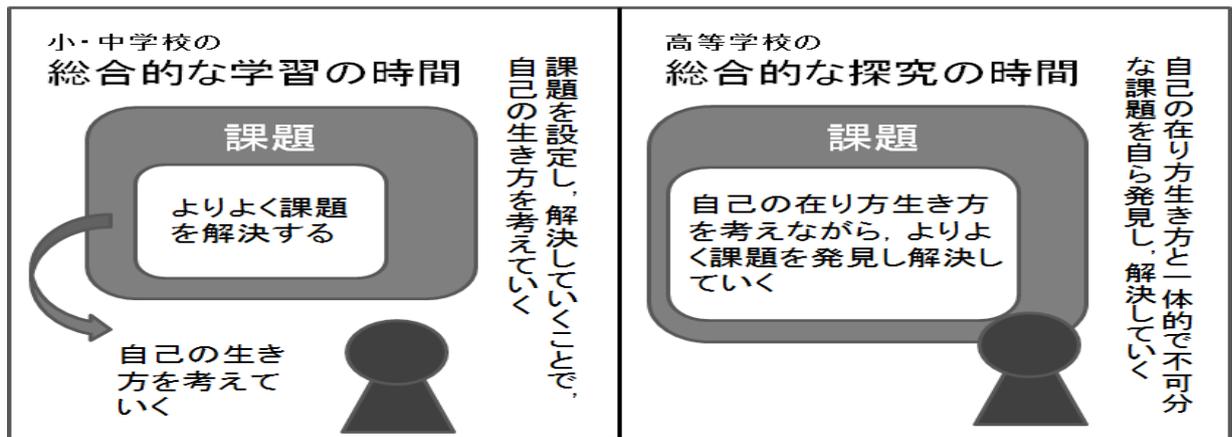
IV 総合的な探究の時間

1 改訂の要点

(1) 改訂の基本的な考え方



課題と生徒との関係(イメージ)



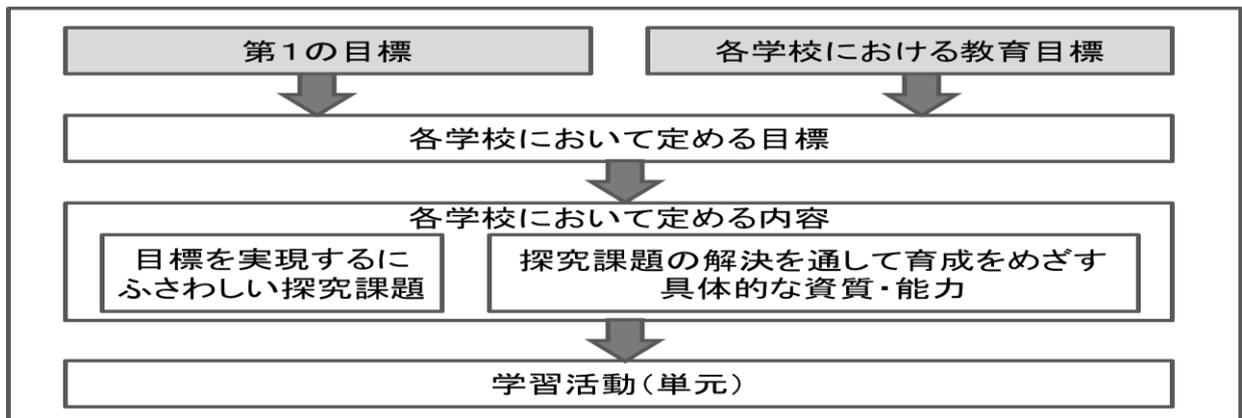
(2) 目標の改善

- 「探究の見方・考え方」を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成。
- カリキュラム・マネジメントの軸となるよう、各学校における教育目標を踏まえて、各学校の総合的な探究の時間の目標を設定。

(3) 学習内容、学習指導の改善・充実

- 各学校は、①目標を実現するのにふさわしい探究課題を設定、②探究課題の解決を通して育成をめざす具体的な資質・能力を設定。

< 目標と内容と学習活動の関係 >



※ 第1の目標については次頁参照

2 目標及び内容

第1 目標

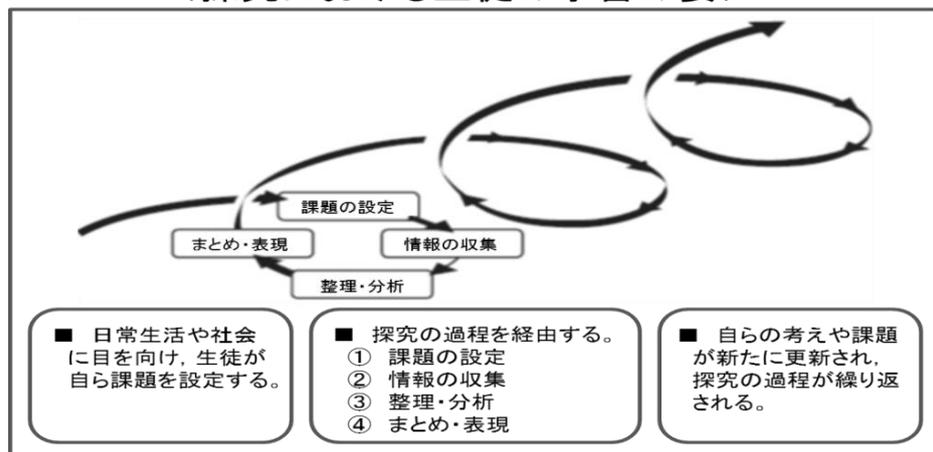
※ 国が示す目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

※ 目標を(1)「知識及び技能」、(2)「思考力、判断力、表現力等」、(3)「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理

<探究における生徒の学習の姿>



各学校において定める目標

各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な探究の時間の目標を定める。

※ 国が示す「第1の目標」と「各学校における教育目標」を踏まえ、各学校が具体的な目標を設定。

※ 各学校が、育てたい生徒像を明示。

各学校において定める内容

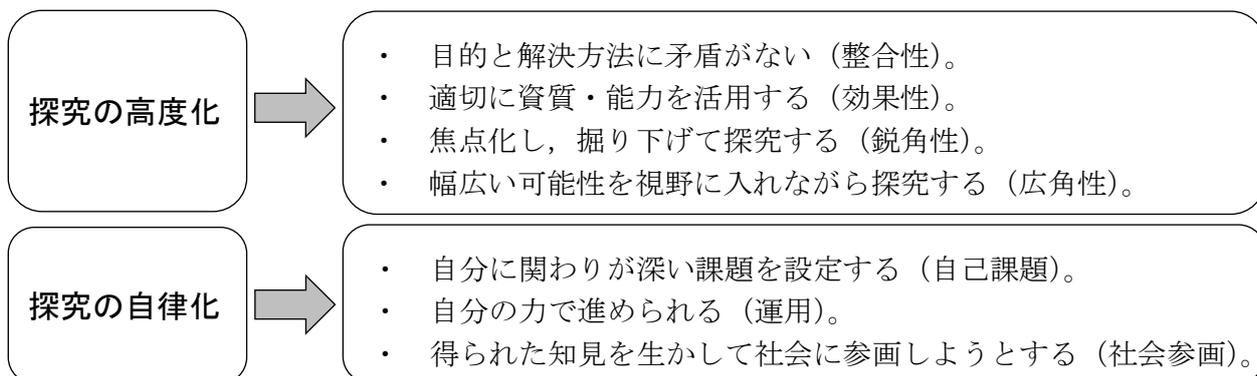
各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な探究の時間の内容を定める。

※ 総合的な探究の時間の内容は「目標を実現するのにふさわしい探究課題」と「探究課題の解決を通して育成をめざす具体的な資質・能力」で構成。

※ 探究課題については、一人ひとりの生徒が自己の在り方生き方と一体的で不可分に結び付いた形で成立するような課題を自ら発見していけるような幅の広さや奥行きを深さを受け止められるものとする。

3 総合的な探究の時間の特質

(1) 探究が高度化し、自律的に行われること



(2) 他教科・科目における探究との違いを踏まえること

<総合的な探究の時間>

- ・ 対象や領域は、特定の教科・科目等に留まらず、横断的・総合的。
- ・ 複数の教科・科目等における見方・考え方を総合的・統一的に働かせて探究。
- ・ 解決の道筋がすぐには明らかにならない課題や、唯一の正解が存在しない課題に対して、最適解や納得解を見いだすことを重視。

4 指導計画の作成と内容の取扱い

(1) 指導計画の作成に当たっての配慮事項

- ・ 年間や、単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。

⇒ 必ずしも1単位時間の授業の中で全てが実現されるものではない。

- ・ 他教科等の目標及び内容との違いに留意しつつ、第1の目標並びに第2の各学校において定める目標及び内容を踏まえた適切な学習活動を行うこと。

⇒ 以下は、総合的な探究の時間としてふさわしくない学習活動の一例である。

- ① 特定の教科・科目等の知識や技能の習得を図る学習活動
- ② 修学旅行や体育祭の準備などと混同された学習活動

(2) 内容の取扱いについて配慮事項

- ・ 比較する、分類する、関連付けるなどの考えるための技法が自在に活用されるようにすること。

⇒ 未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等の育成につながる。

- ・ 職業や自己の進路に関する学習を行う際には、探究に取り組むことを通して、自己を理解し、将来の在り方生き方を考えるなどの学習活動が行われるようにすること。

⇒ ここでいう進路に関する学習とは、単なる大学調べや講話を聴くことだけではなく、自己の進路を力強く着実に切り拓いていこうとするための資質・能力の育成に資する学習のことである。

5 総合的な探究の時間の取組例

探究課題

地域活性化に向けた、新たなまちづくりの提案

めざす資質・能力

- (1) 他の教科・科目で得た知識及び技能と関連付けて、日常生活の様々な場面で活用できる知識及び技能を習得する。
- (2) 答えが一つに定まらない問題に対して、知識・技能を活用して多面的・多角的に考察し、表現する。
- (3) 生徒が他者と協働し、よりよい社会を実現しようとする態度や、探究に主体的に取り組み、将来の自己の在り方生き方につなげる。

テーマ（単元）・学習内容・学習活動

月	時数	テーマ (単元)	学習内容	学習活動	学習形態	
4月	2	にわつたいてしたちの地域	地域の産業等についての調べ学習	図書室や情報通信ネットワーク等を活用して情報を収集する。	クラス単位 グループ研究	
5月	4		地域への参画 (町役場訪問など)	地域の自治体と協力し、清掃活動を行う。 町役場を訪問し、地域の現状について伺う。	学年単位	
6月	4		課題の発見	収集した情報を整理、分析、関連付ける。 調査結果をレポートにまとめる。 グループごとの発表を通して調査結果を共有し、地域の問題点をまとめ、課題を設定する。	クラス単位 グループ研究 グループ発表	
7月	3	新わたしたちまちづくりの地域への探究	課題の分析 活動計画の作成	課題を探究するために必要な情報を精査し、調査のための計画書を作成する。	クラス単位 グループ研究	
9月	3		調査活動	計画書に基づき、校外又は校内において、調査活動を行う。	クラス単位 グループ研究	
10月	4		調査活動のまとめ 1次レポートの作成	調査したことをまとめる。課題の解決に向けた方策についての1次レポートを作成する。	クラス単位 グループ研究	
11月	4		1次レポートの発表 相互評価 1次レポートの検証	1次レポートを発表する。 クラス全員で評価や指摘を行う。 評価や指摘を基に、1次レポートを検証する。	クラス単位 グループ発表 グループ研究	
12月	3		調査活動 2次レポートの作成	集めた情報等を整理、分析、関連付けて、課題解決に向けた方策を探究する。	クラス単位 グループ研究	
1月	3		2次レポートの作成 発表準備	2次レポートを作成する。 発表に向けた準備を行う。	クラス単位 グループ研究	
2月	3	提案 新たなまちづくりの	学年発表 地域への発信	地域の人々を学校に招き、学年で発表する。 各グループが提案した課題の解決に向けた方策をまとめたものを町役場に提出する。	学年単位	
3月	2		振り返り 次年度への抱負	一年間の探究を振り返る。 次年度に向けた新たな課題を提起する。	クラス単位 個人・グループ研究	
実施予定単位時間数			1 学期 13 時間	2 学期 14 時間	3 学期 8 時間	年 間 35 時間